

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 所管事務の調査（視察）

(1) 市立看護大学について

資料1 市立看護大学について

資料2 施設見学先・ルート図

資料3 川崎市立看護大学 GUIDEBOOK 2023

令和4年11月11日

健康福祉局

川崎市立看護大学の紹介

令和4年11月11日（金）
健康福祉委員会〔視察〕

看護大学はどこも一緒じゃない
ここにしかない、学びがある
大切なあなたを、大切に育てたい


このイメージは、本学が最初に作ったポスターです。



川崎市立看護大学
Kawasaki City College of Nursing

本日の内容

- 川崎市立看護大学について
 - ・本学の歴史
 - ・本学の設置の趣旨
 - ・本学の教育理念とそれに基づく3P
 - ・本学で取得できる資格
 - ・本学の特徴
- 入試について
 - ・2022年度実績
 - ・2023年度入試
 - ・特待生制度、奨学金制度
- 学生生活について





川崎市立看護大学について

- ・本学の歴史
- ・本学の設置の趣旨
- ・本学の教育理念とそれに基づく3P(ポリシー)
- ・本学で取得できる資格
- ・本学の特徴



本学の歴史

- 昭和39年 川崎市立高等看護学院創設
- 平成7年 川崎市立看護短期大学設立
- 平成27年 川崎市立短期大学創立20周年
- 令和3年 川崎市立短期大学第27期生入学 (最終)
- 令和4年 **川崎市立看護大学開学** (第1期生入学)
- 令和7年 川崎市立看護大学大学院 (設立予定)





本学の設置の趣旨

看護基礎教育における教育の質を高め、医療機関はもとより地域の様々な場で活躍することができ**地域包括ケアシステム**に資する人材を養成し、**地域社会における健康と福祉の向上に貢献する。**

大切なあなたを、大切に育てたい

川崎市立看護大学

Kawasaki City College of Nursing



本学の教育理念とそれに基づく3P

<教育理念>

社会で生活する人々に対する理解を深め、豊かな人間性と幅広い視野を持ち、科学的根拠と倫理観に基づいて思考し、問題に対応するための看護実践力を通し、**地域社会における健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成**する。

<教育目標>

- 1 多様な価値観を受け入れ、**人に寄り添える幅広い教養と豊かな人間性**を持った看護職者の育成
- 2 生命をいつくしみ、**高い倫理性**をもってケアできる看護職者の育成
- 3 先見性、柔軟性、創造性を持ち、**他者や多職種と協働**できる看護職者の育成
- 4 **科学的根拠と倫理的思考**に基づいて実践できる力を有した看護職者の育成
- 5 **地域社会に貢献したいという意欲と能力**を持ち、**地域包括ケアシステムに資する**看護職者の育成



＜アドミッション・ポリシー＞ (本学が求めている人材)

- 1) 大学で看護を学修するための基礎的学力が身についている人
(**基礎学力**)
- 2) 人々の生活、環境に興味関心をもち、命の尊厳と人の権利を重んじることができる人(**倫理性・人の生活への関心**)
- 3) 自らの可能性を信じ、課題に対して主体的に取り組む努力ができる人(**自律と努力**)
- 4) 多様な考え方を尊重するとともに、自らの考えを表現し、他者との関係性を築いていける人(**コミュニケーションと協調**)
- 5) 保健医療福祉に広く関心を持ち、自らの活動を通して地域社会に貢献したいという意欲がある人(**地域愛と活動力**)



＜カリキュラム・ポリシー＞ (教育課程編成方針)

- I **【人間理解の基礎】**は、「科学的思考の基盤」「環境と社会」「人間の理解」「語学」の4区分の科目を配置し、看護職としての専門的能力の基盤となる社会人基礎力を養う。
 - II **【専門基礎】**は、「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「健康支援と社会保障制度」「健康現象の疫学と統計」の4区分の科目を配置し、倫理的及び科学的に看護を実践するための基礎となる力を養う。
 - III **【専門】**は、「基礎看護学技術」「地域・在宅看護論」「成人看護学」「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「精神看護学」「看護の統合と実践」「公衆衛生看護学」「臨地実習」の各専門領域の科目を配置し、看護専門職としての基礎力や実践力、他者や多職種と協働する力を養う。
これら、【人間理解の基礎】【専門基礎】【専門】の3区分を総合的に学ぶことにより、地域包括ケアシステムに資する意欲、知識、技術を養う。
- (1) カリキュラムの構成は、段階的に学修ができるよう、内容の順次性を考慮して配置する。
 - (2) 基礎力を育成するために、講義・演習・実習を有機的に機能させる。
 - (3) 先見性、柔軟性、創造性を養うため、ICT、シミュレーション教育等を活用するとともに、アクティブラーニングを基本とした多様な教育方法を取り入れる。
 - (4) 論理的思考力や数理処理の基礎力育成のため、統計情報等を活用する。
 - (5) 地ケアに資する能力育成のため、本市社会資源を活用する等、系統的に学ぶ科目を設定する。
 - (6) 到達目標を理解しやすいシラバスとし、学修成果を確認できる学修ポートフォリオの活用によって、意欲、知識、技術等を総合的に評価する。



<ディプロマ・ポリシー> (学位授与方針)

以下のような資質・能力を身に付け、かつ所定の単位を修得した学生に、学士(看護学)を授与することとする。

- 1) 社会構造の変化を見据え、様々な年代、多様な人々の生活の維持・向上につながる支援を考究し実践できる**社会人基礎力**
- 2) 高い倫理性と科学的根拠に基づいた判断力を持ち、**効率的・効果的に看護を実践できる力**
- 3) 先見性、柔軟性、創造性を持ち、**他者や多職種と協働して実践できる能力**
- 4) 医療の高度化、生活様式や社会の多様化に対応し、看護の改善・発展に取り組むことができる**専門職としての基礎力**
- 5) **地域社会に貢献したいという意欲**及び**地域包括ケアシステムに資する知識と技術**



本学で取得できる資格

2年生の年度末
に選抜試験を
行い、履修者を
決定

選抜制
30名

・「保健師選抜試験
実施要項」に基づき、
2年生の1月ごろに試
験を実施予定
・1年生の春秋のオリ
エンテーションで説明

助産師

保健師

看護師

准看護師



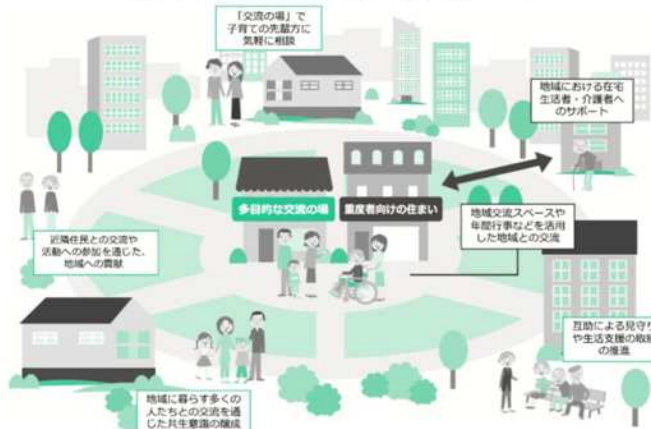
1学年定員
100名



本学の特徴

川崎市の考える地域包括ケアシステム

図表 ライフスタイルに合った「住まい方」の実現（イメージ）



子どもから高齢者までが、住み慣れた地域で、健康で安心して暮らし続けることができる地域・仕組みづくり



地域包括ケアに資する 看護職に必要な能力

- いかなる場所・状況でも「**思考し、実践する**」力
- 人々の「**生活の質**」について理解する力
- 健康を維持するための「**予防的視点**」
- 患者を理解し「**切れ目ない医療提供**」をする力
- チームでより良いケアを提供する「**多職種連携**」
- その人らしく亡くなることを支援する「**看取り**」
- 災害や感染症対応などの「**健康危機管理**」



教育目標に反映させています



特徴1 カリキュラム 看護師養成所の指定規則との比較

類	科目区分	指定規則	本学	卒業要件		
		看護師	合計	必修単位	選択	
人間の基礎	科学的思考の基盤	14	21	3	2	
	環境と社会			4		
	人間の理解			9		
	語学			2	1	
専門基礎	人体の構造と機能	16	25	7	0	
	疾病の成り立ちと回復の促進			18		
	健康支援と社会保障制度	6	8	2		
	健康現象の疫学と統計	0		2		
専門	基礎看護学	11		13	3	
	地域・在宅看護論	6		6		
	成人看護学	6		6		
	老年看護学	4		5		
	小児看護学	4		4		
	母性看護学	4		4		
	精神看護学	4		4		
	看護の統合と実践	4		7		
	公衆衛生看護学	0	3	3		0
	臨地実習	23	23	21		2

本学の授業は1コマ100分で、じっくりと思考できるように！

解剖や医学に関する科目が指定規則よりも9単位も多い



論理的思考を学ぶ科目

1年生

- ・クリティカル・シンキング
- ・情報処理
- ・総合講義

2年生

- ・「人体の構造と機能」の科目
- ・「疾病の成り立ちと回復の促進」の科目

3年生

- ・看護研究法概説
- ・各領域の看護学実習

4年生

- ・臨床推論
- ・看護研究
- ・統合地域包括ケア演習





総合講義では、川崎市長も講義

授業科目：総合講義



• 学生のコメント

川崎市立の大学に来て、実際に川崎市長の生の声を聞けるなんて思っていませんでした。川崎市立大学に進学したからには、**今後も川崎市の活性化のために様々な案を積極的に出して、川崎市に貢献したい**と思いました！



市職員及び患者本人による講義

授業科目：川崎市の文化と科学

■「元気高齢者を創る仕組み」(7月13日)

講師：健康福祉局地域包括ケア推進室職員

■「神経難病による障がい者への公的支援について」(7月20日)

講師：ALS患者高野さん(川崎つながろ会代表)



授業は、スライドの文字を音声変換したもので実施

学生からのピュアな質問に答えてくださる高野様

透明の文字盤を使って介助者とのコミュニケーションをしているところも学生の学び



看護専門科目の特徴

- **1年次と4年次**の科目の対応
看護コミュニケーション論 I ⇒ II
看護倫理学 I ⇒ II
- **看護研究**を全員に実施させる
- 統合地域包括ケア演習(4年後期)
- 保健師を選択しない学生にも4単位の公衆衛生看護学を課す



川崎市立看護大学での実習

- 指定規則に応じた23単位(23週間)の実習

<川崎市立看護大学の实習>

- ほぼ、**市内**で実習できる
- 市立川崎、井田、多摩病院を中心として、**多くの短大の卒業生が働く環境**で実習できる
- 実習先の概要:パンフレット参照
- 令和4年度の実習要項による



3年生 12単位
病院実習
助産所
療育施設
デイケア施設
高齢者保健施設
保健師 2単位

4年生 7単位
病院実習
訪問看護ステーション
地域包括支援センター

+
保健師 4単位
保健所
児童相談所
学校
企業

2年生 3単位
病院実習
地域高齢者の集い
保育園の乳幼児

1年生 1単位
病院実習





看護師の実習科目の特徴

- 医療機関の実習は川崎市立3病院を基本
- 専門病院での実習: 緩和ケア、認知症ケア
- 訪問看護ステーション以外にも
地域の施設を活用
 - ・助産所(母性看護)
 - ・保育所・いこいの家
 - ・デイケア施設(精神看護)
 - ・地域包括支援センターと居宅介護支援事業所
 - ・養護学校(特別支援学校)(小児看護)
 - ・児童相談所、養護施設、企業



特徴2

学習できる環境の提供

- 教科書(デジタル教科書)
- ナーシング・スキル
- 看護の映像配信システム
- 図書館の文献検索システム



個人IDを付与

⇒自宅でも、実習先でも、電車の中でも
どこでも・いつでも学習できます

- マルチラーニング室

自ら学び続ける学生の育成



大学ポータル等から学生への情報提供




川崎市立看護大学ポータルサイト

ポータルサイトとは

このポータルサイトには、シラバスをはじめ、施設利用、災害時対応など、本学で学生生活を送っていく上で重要なルールや手続き方法を、項目別にまとめて掲載しています。内容は年度途中で更新されることもありますので、最新の情報は必ずこのサイトで確認するようにしてください。

👉 お役立ち Link 👈


欠席・健康管理	遅刻・欠席連絡フォーム	コロナ備性・濃厚接触者関係		
学習サポート	シラバス	特編副	新任教員連絡先	
危機管理	感染症発生時の対応	休講の基準		
動画教材・文献検索	ビジュランクラウド	ナーシングスキル	問診館・資料検索	問診館・データベース
施設案内	教員研究室	案内図		




特徴3 地域との連携

- 地域との交流の中で実践的に学ぶ
 新生と幸区オリエンテーリングを楽しみました
 「サービ斯拉ーニング」での活動
 演習での模擬患者の活用
 模擬患者養成講座を開催（R4年も開催予定）

模擬患者養成講座の様子： 模擬人生会議↓



新生児訪問の練習↓



模擬患者養成講座の実施状況

模擬患者として看護師の
タマゴを育ててください

模擬患者 養成講座

に参加してみませんか

令和4年に川崎市立看護大学がオープンします

○本学は、地域と連携して看護師を養成することをめざしています。そこで、皆様と連携して授業に参加していただき（ホスピタリティ）、ご自身の健康についても学びながら、看護師のタマゴを育てていきたいと思います。

○模擬患者の養成講座は、本学で、健康のことや学生へのアドバイスの出し方などを学びながら、学生へのアドバイザーになっていただくための講座です。

参加条件
・6回出席できる方
・e-メールを使える方

養成講座の回数 6回
養成講座の日程 11/5（金）、11/10（水）、11/26（金）、12/10（金）、12/17（金）、12/24（金）
時間 15:00-17:00
場所 川崎市立看護短期大学内（幸区小島4-30-1）
参加費 無料

お問い合わせ先
川崎市立看護大学 準備室 上元
電話 044-587-3535

お申し込み先は、別紙申し込み用紙をご覧ください
お申し込み期限
10月20日（水曜日）



○2021年度の模擬患者養成講座の実施状況

- ・ 9月～10月（参加者数:11人）
- ・ 11月～12月（参加者数:8人）
- ・ 内容:実施予定の授業に応じて
- ・ 川崎市立看護大学が目指す看護職像
- ・ 医療面接・看護面接の体験と振り返り
- ・ 相手に役立つフィードバックの仕方
- ・ 模擬患者としての心構え
- ・ 模擬患者に必要な医療や看護の知識

○2022年度の実施予定

- ・ 1クール3回に集約し、11月・2月に実施予定

模擬患者を活用した授業

申請時

学年	科目	内容	学生数	模擬患者
1年	看護コミュニケーション論Ⅰ	プロセスレコードの実際	50人	12-13人
2年	基礎看護学技術Ⅳ (フィジカルアセスメント)	バイタルサインの測定演習	50人	12-13人
3年	公衆衛生看護学方法論	家庭訪問援助の実際に活用する	30人	10人
3年	老年看護学演習Ⅱ	認知症高齢者と介護者の意思決定	50人	12-13人
4年	臨床推論	腹痛の事例	25人	8-9人
4年	看護コミュニケーション論(発展)	グループで模擬ACPの立案を体験する	50人	12-13人

今年度の実績

実施科目：看護コミュニケーション論Ⅰ

参加模擬患者数：12名

学生の意見など：

- 学生同士では得られない学びが川崎市の方の協力によってできたので、とても貴重な経験になりました。知らない方とのコミュニケーションだからこそ、こういった話の展開をしたらいいのか考えることができました。
- この授業の中で、模擬患者さんとコミュニケーションを取れたことがとても大きな経験でした。正直自分のコミュニケーション力に自信がなく、実習に行ったらどうなるのかと心配していました。そのため、模擬患者さんと話して反省点・改善点を見つけられたのでよかったです。



新入生オリエンテーリング

「学生同士の親睦を深める。」、「地域貢献へのきっかけづくり」を目的として実施
(区内48施設を対象)



地域と学生の交流会

- 9月24日に地域住民・地区組織の方々と学生が人生会議(Advanced Care Planning:ACP)を実施しました



グループワークでこれからの10年間の暮らし方を考える



幸区民祭・プラザまつり

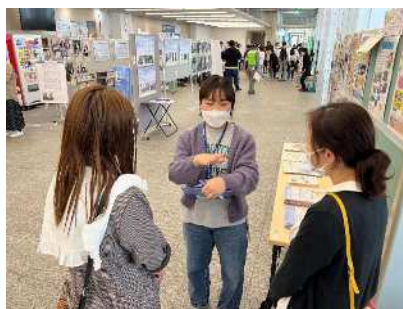
「幸50祭」(6/4)と同時開催されたイベント(さいわい健康福祉プラザ)において、本学学生11名が、高齢者疑似体験・妊婦体験コーナーを担当。

また、「幸区民祭」(10/16)において、本学学生11名が「認知症VR体験ブース」の運営に参加。

<高齢者疑似体験・妊婦体験>



<認知症VR体験ブース>



地域と連携した 学内弁当販売の試行実施

本学では、学内に食堂を設け学生等に対して昼食販売を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、現在は中止しています。

しかしながら、本学の近隣には飲食店や弁当販売等を行う店舗が少ないことから、**地域商店街のご協力をいただき、試行的に2日間に限定して学内で弁当販売を実施**しました。今後、**本格実施に向け検討**を進めます。

- 試行日時 令和4年9月16日(金)及び30日(金) 昼食時
- 販売場所 地下1階学生用ラウンジ(旧食堂)
- 販売品目
 - のり弁当(350円)
 - おにぎり(100円)
 - 菓子パン(100円)
 - から揚げ(140円)
 - 各種飲料水(100円)
- 販売協力 小倉商栄会
齊木商店





臨海部研究施設等との連携

ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)をはじめとする臨海部研究施設等との連携を模索

■ iCONMを中核機関とする「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点」(「共創の場形成支援プログラム」(国立研究開発法人科学技術振興機構)への本学の参加

■ 臨海部研究施設等と本学が連携することで、高度な専門知識の習得や新たな看護学の研究につなげるなど、本市の地域包括ケアシステムを支える次世代の看護人材の育成を支援する取組を推進

ナノ医療イノベーションセンター
(iCONM)



看護大学の数字あれこれ

- 博士号を有している教員の割合 **73.5%**
- 1年生の担任の数は **7人**
- 1年生が初めて実習に行くのは **11月**
- 卒業要件となる単位数 **132単位**
- 実習の単位数 **23単位**(保健師含 29単位)
- 現在のサークル数 **5団体**
- 市外の実習施設先 **3か所**(311か所中)
- 代表研究者として科学研究費の交付を受けている教員 **18人**



1年前期の授業評価の状況

回答状況

授業評価アンケート（前期）対象授業数	全18授業（講義17・演習1）
平均回答率	75.9%
講義科目平均得点	4.31点
最高回答率	100.0%（1授業・教育学）
最低回答率	56.5%（1授業・日本国憲法と法）

No	質問内容	平均得点
1	自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加した	4.36
2	シラバスに沿って、授業のための事前・事後学習をおこなった	3.82
3	シラバスを参考にしたうえで授業に参加した	3.89
4	授業内容を十分理解できた	4.21
5	授業の内容は興味あるものだった	4.28
6	この授業はシラバスに沿って行われた	4.43
7	授業の進め方や時間配分は適切だった	4.42
8	教員は熱意をもって授業をしていた	4.59
9	授業各回の説明はわかりやすかった	4.31
10	教員の話し方は聞き取りやすかった	4.35
11	プリントや動画教材等の補助教材は授業の理解に役立った	4.47
12	教員の板書、スライド、DVD、ホワイトボード等の使い方は効果的だった	4.39
13	教員は質問の機会を設定し適切に対応していた	4.35
14	授業に集中しやすい環境（静かさ、室温、採光）であった	4.53
平均		4.31



大学院の設置に向けて

<設置の意義>

- ① **高度実践看護師の養成**による市内医療機関及び地域の看護力強化
- ② **市内看護職の学びの場の創設**
- ③ **社会人でも働きながら通える利便性の高いサテライト施設を設置**することで①②を促進
- ④ **学術の理論及び応用の教授研究により深い学識及び卓越した能力を培う**ことで文化の進展に寄与

<検討体制>

川崎市立看護大学評議会の下に検討部会を設置し、令和5年春頃までに「(仮)川崎市立看護大学大学院整備基本計画(案)」を策定

<主なスケジュール>

R5年春頃 基本計画(案)策定
 R5年夏頃 基本計画策定
 R6年3月末 設置認可申請
 R6年8月頃 設置認可
 R7年4月 大学院開学



入試について

- ・ 2022年度実績
- ・ 2023年度入試
- ・ 特待生制度、奨学金制度



＜アドミッション・ポリシー＞ (本学が求めている人材)

- 1) 大学で看護を学修するための基礎的学力が身についている人
(**基礎学力**)
- 2) 人々の生活、環境に興味関心をもち、命の尊厳と人の権利を重んじることができる人(**倫理性・人の生活への関心**)
- 3) 自らの可能性を信じ、課題に対して主体的に取り組む努力ができる人(**自律と努力**)
- 4) 多様な考え方を尊重するとともに、自らの考えを表現し、他者との関係性を築いていける人(**コミュニケーションと協調**)
- 5) 保健医療福祉に広く関心を持ち、自らの活動を通して地域社会に貢献したいという意欲がある人(**地域愛と活動力**)



2022年度実績

	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	実倍率	入学者数
一般選抜（前期） 【募集定員 70名】	560	473	78	8	6.1	71
一般選抜（後期） 【募集定員：5名】	135	63	5	27	12.6	5
学校推薦型選抜 【募集定員：25名】	67	67	25	2.7	2.7	25
社会人選抜 【募集定員：若干名】	8	8	0	-	-	0
合計 【募集定員：100名】	770	611	108	7.7	5.7	101
※ 志願倍率 = 志願者数 ÷ 募集定員数 ※ 実倍率 = 受験者数 ÷ 合格者数						



2023年度入試

1 募集定員

募集定員（100名）

一般選抜		学校推薦型選抜	社会人選抜
前期/70名	後期/5名	25名	若干名

2 入学者選抜試験日程

選考区分		出願期間*	試験日	合格発表
一般選抜	前期	1月23日(月) ~ 2月3日(金)	2月25日(土) または 2月26日(日)	3月9日(木)
	後期		3月12日(日)	3月23日(木)
学校推薦型選抜		11月1日(火) ~ 11月8日(火)	11月19日(土)	12月13日(火)
社会人選抜				



●学校推薦型選抜

選抜方法



- 本学が実施する個別学力検査等(個人面接・小論文)
 - 本学を志す理由を記載した**志願書**
 - **調査書**
- により総合的に選抜します

小論文は所要時間 80分
800字程度の文章を書くことを求めます



●社会人選抜

選抜方法



- 本学が実施する個別学力検査等(個人面接・小論文)
 - 本学を志す理由を記載した**志願書**
- により総合的に選抜します

小論文は所要時間 80分
1200字程度の文章を書くことを求めます



●一般選抜

1 選抜方法



- 大学入学**共通テスト**
 - 本学が実施する個別学力検査等(**個人面接・小論文**)
 - 本学を志す理由を記載した**志願書**
 - **調査書**
- により総合的に選抜します

小論文は所要時間 80分
800字程度の文章を書くことを求めます



●一般選抜

2 大学入学共通テスト

○前期

大学入学共通テスト 指定する教科・科目		
教科	科目名称	
国語	「国語」(近代以降の文章)	必須
外国語	「英語」(リーディング・リスニング)	必須
地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	1科目 選択
数学・理科	もしくは、 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」	2科目 選択

「選択科目」について必要科目数以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に使用する。ただし「基礎」の付く科目は、2科目の合計点を1科目の得点とみなす。



●一般選抜

○後期

大学入学共通テスト 指定する教科・科目		
教科	科目名称	
国語	「国語」（近代以降の文章）	必須
外国語	「英語」（リーディング・リスニング）	必須
数学	「数学1・数学A」	必須
地理歴史・公民 数学・理科	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	1科目 選択
	もしくは、 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」	2科目 選択

「選択科目」について必要科目数以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に使用する。ただし「基礎」の付く科目は、2科目の合計点を1科目の得点とみなす。



●一般選抜

※2段階選抜

- 入学志願者が募集人員に対して大幅に超過した場合は、大学入学共通テストの成績により、第1段階選抜を行い、第1次段階選抜合格者に対して第2次段階選抜として個別学力検査等を行うことがあります。
- 2段階選抜は、令和3年度（R4.4入学）の一般選抜（前期・後期）では実施していませんが、令和4年度（R5.4入学）は志願倍率が前期4倍、後期20倍(*)を超えたときに実施することといたしました。
 (*) 2段階選抜の基準となる志願倍率については、令和3年度の入試実績を踏まえ設定しました。
- 倍率等の詳細については、本学公式ホームページにて、後日公表いたします。



●オープンキャンパス

■第1回 令和4年6月19日(日)

参加組数 131組(学生・付き添い)

※令和4年度末卒業の学生のみを対象として実施

■第2回 令和4年8月7日(日)

参加者数 258人
(学生等)

※学年等の申込み
制限は行わないが
より多くの学生に参
加してもらうため
付き添いは無し。



■第3回

令和5年3月25日(土)予定



特待生制度、奨学金制度

●特待生の選抜について

1 目的

入学試験において優秀な成績を上げ、かつ将来への目的やビジョンを明確に持つ学生の、大学前半における看護教育の基礎的教育課程を集中して取り組める環境作りを目的として特待生制度を設けています。

2 特待生制度詳細

特待生枠	5名
給付期間	入学後2年間
給付金額	入学金と2年間の授業料(最大 1,353,600円)
選抜方法	一般選抜(前期)日程における成績上位5人までを認定



●学費・奨学金

入学料	川崎市の住民	141,000円
	それ以外	282,000円
授業料	年間	535,800円
	前期(4月)	267,900円
	後期(10月)	267,900円

※これ以外に別途タブレット端末代、教科書代などが掛かります。

「川崎市の住民」とは、本人又はその配偶者若しくは本人からみて1親等である親族のいずれかが令和4年4月1日以前から引き続き川崎市内に住所を有する人をいいます。



各種奨学金の受給状況

奨学金等種別	人数
川崎市立看護大学奨学金（成績優秀者奨学金）	5
川崎市立看護大学奨学金（地域就職促進奨学金）	1
川崎市看護師等修学資金	5
神奈川県看護師等修学資金（特例）	0
神奈川県看護師等修学資金（一般）	7
川崎市弘済会	6
日本学生支援機構給付型	14
日本学生支援機構（第1種）	17
日本学生支援機構（第2種）	10
合計	65

大学との共同研究、学生の学びの場として期待されています



学生生活について



4大生と短大生の交流

- オープンキャンパスでも個人保護具着用指導を前に、短大生・4大生(サークル:メディックス)と教員と一緒に練習





スポーツサークル

現在、スポーツサークルを含め5つのサークルが活動しています。
スポーツサークルでは、川崎市のプロバスケットチーム“川崎ブレイブサンダース”より、ユニフォームを譲り受けて練習。地域との連携がここでも始まっています。



青朋祭(学園祭)の実施

令和4年10月10日(月・祝日)に、3年ぶりとなる「青朋祭」を開催。模擬店では地域の方々にご協力をいただくとともに、地域からも出展し、予想を上回る678人の方々が来場されました。



模擬店で、地域の方と一緒に焼きそばを作る学生

SNS (instagram)を活用した広報

ご清聴ありがとうございました



教職員力を合わせて
教育目標の達成に
努力してまいります